



市議 土山由美子

いせはら ネット通信

9月一般質問

http://tutiyama.kanagawanet.jp/

中学校給食はいっつ実現？

9月26日(火) 9月議会の一般質問で、中学生の昼食について市の姿勢を問いました。

中学校給食をめぐる
これまでの経過

どうした神奈川県

公立中学校の完全給食の実施率において神奈川県は全国で最低です。全国平均88%の中、24% (2016年)。関東の他都県はほぼ100%。その理由は「急激に人口が増加した昭和40年(1965)以降、学校建設を最優先で行ったものの中学校の給食導入を先導するリーダーがいなかったためそのまま現在に至ってしまった」のだから。

それでも大きな人口を抱える川崎市で今年やっと完全給食(センター方式)が始まるなど、実施率は増える傾向にあります。

平成17年(2005)に食育基本法が施行されて、子どもに望ましい食習慣の形成や食に関する理解のために「学校給食の充実」が求められています。

どうする伊勢原市

伊勢原市では平成17年「中学校給食推進検討委員会」が設置され、「実現に向け取り組みが望ましい」「弁当を持参できない子どもたちへの支援策を」という提言が出されました。

それを受けて平成18年、弁当を持参できない生徒への

の支援策として、校内弁当販売システム「スクールランチ」を委託事業により開始しました。(現在年間利用率は25.4%)

その後「伊勢原市中学校給食導入検討委員会」(保護者や公募市民を含む)で食育や給食のあり方、実施手法などの具体的な事項の検討を重ね平成20年に出された報告での提言は。

(要旨)

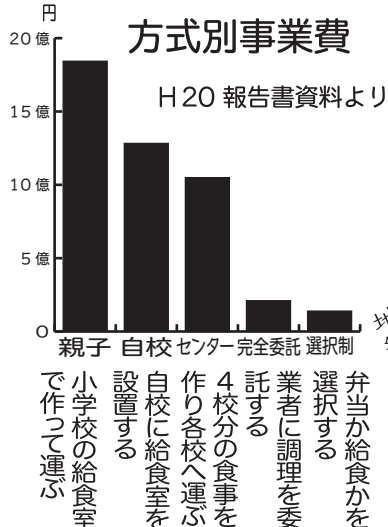
1 望ましい食習慣の形成のため早期に実施。
2 重要な教育活動の場として食育の推進。
3 給食の役割と意義は大きい。経費負担も大きい。最小の経費で最大の効果が挙げられる方策を。
4 家庭弁当を望む家庭や、アレルギー等により家庭弁当が必要な生徒に配慮。
5 早期実現のためには選択制を含めたセンター方式、もしくは完全委託方式が現実的な手法。

提言から9年、まだ給食は実現していません。

自校式で地元野菜を使った給食が理想だけど



財政難が壁

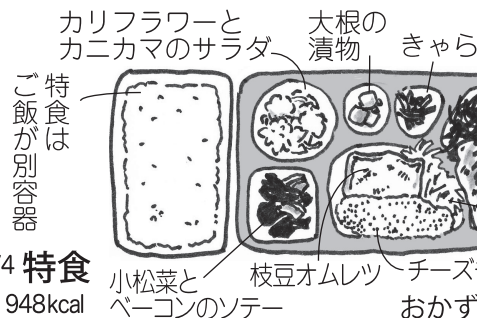


弁当か給食かを
選択する
業者に調理を委託する
4校分の食事を作り各校へ運ぶ
自校に給食室を設置する
小学校の給食室で作って運ぶ

給食プロジェクト スクールランチ食べてみました2

前回の中沢中学に続いて、2回目のスクールランチ試食会を伊勢原中学で行いました。給食プロジェクトの4名が参加し、校長先生、教育長など教育委員会の方々とスクールランチをいただきながら意見交換をしました。市内の4中学校のうち3校(中沢、山王、成瀬)は伊勢原市内の同一の業者に委託、伊勢原中学は秦野市の業者に委託しています。

このランチは種類が豊富です。女の子向けの「なでしこ」は量が少



なめで350円。「特食」はボリュームたっぷりの440円。「普通食」は380円。量だけの違いではなく献立がバラエティに富んでいます。「カレー」は380円で大盛りは410円。季節限定の「麺弁当」380円。

通常は15食ほどの利用ですが、人気の麺弁当がある時は20~30食になるそうです。

スクールランチに関して教育委員会はあまり関心がなさそうでしたが、シルバー人材センターの手も借りており、導入したからにはもっと利用しやすくするための対策や課題の把握の必要があるのではと感じました。(浜田)

スクールランチに 就学援助を

教育委員会は本年度中に給食導入に関する方針を発表することになっており関心が寄せられています。検討委員会による提言を踏まえて検討中とのこと。

給食は未実施だが栄養士と協力して食育指導は行ってきたとのことです。

近年は全国的に貧困の状況にある子どもたちが増え、健康面、福祉面からも給食の重要性が増

しています。最近、昼食の時間になにも食べないで過ごす生徒がいるとの胸の痛む話を聞きました。給食がすぐには導入できないならば、その間スクールランチを就学援助の対象としてはどうでしょうか。

横浜市では、ハマ弁(配達弁当)というのがありますが、この価格を下げ、弁当持参が難しい生徒に対しては無償提供を試みを始めました。伊勢原市でも、今できることを一歩でも二歩でも進めていただきたいと思います。